

基本情報

指標番号
5001

名称
脳梗塞の診断で入院し、抗凝固薬を投与しない割合

分母
18歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例

分子
分母のうち、抗凝固薬内服を投与されていない症例

指標群
脳卒中

意義
Choosing Wisely

年度
2010,2012,2014,2016,2018,2020

必要データセット
DPC 様式 1,EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例
3. このうち、脳梗塞のため入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして「I63\$」（脳梗塞）が含まれる症例
4. このうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。
5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. 分母のうち、抗凝固薬の内服を処方されていない症例

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
1124003	ニトラゼパム	○	○	○	○	○	○	○
1124008	フルニトラゼパム	○	○	○	○	○	○	○
1124017	ジアゼパム	○	○	○	○	○	○	○
1124402	ジアゼパム	○	○	○	○	○	○	○
1125003	フェノバルビタール	○	○	○	○	○	○	○
1125402	フェノバルビタール	○						
1132002	フェニトイン	○	○	○	○	○	○	○
1135002	プリミドン	○	○	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
1139002	カルバマゼピン	○	○	○	○	○	○	○
1139004	バルプロ酸ナトリウム	○	○	○	○	○	○	○
1139005	ゾニサミド		○	○	○	○	○	○
1139008	トピラマート				○	○	○	○
1139009	ラモトリギン					○	○	○

その他

薬剤一覧の出力

はい

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

1. 予防治療をしない率を測定する指標であるが、治療が必要な症例も混在している。
2. 抗てんかん薬は、他の効能（例：抗精神病薬）もありほかの治療目的に利用している場合指標値に誤差がでる。

参考資料

参考値

参考資料

1. Don't routinely use seizure prophylaxis in patients following ischemic stroke.
<http://www.choosingwisely.org/clinician-lists/american-association-neurological-surgeons-seizure-prophylaxis-following-ischemic-stroke/>
2. 脳卒中治療ガイドライン 2021. 日本脳卒中学会 脳卒中ガイドライン委員会